

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和5年9月29日)

事業コード	R5-建-継-11	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	広域河川改修事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班 名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2514
路線名等	一級河川 太平川	担当課長名	河川砂防課長 木次谷 英成
箇所名	秋田市楡山	担当者名	チームリーダー 玉尾 毅
プランとの 関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	S35~R14(73年)	総事業費	433.3億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	計画延長L=7,400m、計画高水流量Q=420m ³ /s(1/20)					
事業の立案 に至る背景	太平川は、秋田市の中心部である(楡山地区~広面地区)を流下し、旭川に合流する河川である。令和5年7月14日~20日の梅雨前線豪雨により発生した甚大な浸水被害軽減のため、下流からの治水安全度の向上を図り、秋田市街地中心部の治水安全度の向上を図るものである。					
事業目的	本事業は、当該区間の河川改修を推進し、洪水氾濫による浸水被害を軽減し、住民生活の安定を図るため河川改修事業を推進するものである。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			前回評価	今回評価	増減	理由等
	事業費内訳	事業費	11,438,100	43,331,200	31,893,100	
		工事費	7,504,600	33,568,000	26,063,400	整備計画断面の見直し、護岸基礎部の軟弱地盤対策の追加、残土運搬等の増
		用補費	2,730,800	4,359,100	1,628,300	補償物件の増
	財源内訳	その他	1,202,700	5,404,100	4,201,400	家屋事前・事後調査の追加等による増
		国庫補助	5,719,050	21,665,600	15,946,550	
		県債	5,147,000	19,499,000	14,352,000	
		その他	0	0	0	
	事業内容	一般財源	572,050	2,166,600	1,594,550	
		事業内容	築堤、護岸、橋梁工	築堤、護岸、橋梁工		
事業の進捗 状況	全体計画	433.3億円				
	令和4年度末投資額	72.3億円				
	進捗率	16.7%				
事業推進上の 課題	太平川沿川に住家や商業施設が連坦しており、沿川住民の生活環境の保全に配慮した河川改修が求められている。					
関連する計画等	新秋田元気創造プランにおいて、県が継続的に取り組むべき基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③の「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている。					
情勢の変化 及び長期継続の理由	秋田市街地を流下する河川であり、令和5年7月14日~20日の梅雨前線豪雨においても、甚大な浸水被害が発生したことから、早期事業完成が望まれている。					
事業効果把握の 手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	河川改修済み延長 / 要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無		
	目標値 a	46.6%(R4末目標)	データ等の出典	河川砂防課調べ		
	実績値 b	46.7%(R4末実績)	把握の時期	令和5年3月		
	達成率 b/a	100.2%				

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	太平川は秋田市街地中心部を流下している河川であり、令和5年7月14～20日の梅雨前線豪雨では、床上浸水2,534戸、床下浸水1,816戸(速報値)と甚大な被害が発生している。重要な公共施設も多数あることから、河川改修の必要性は高い。	30点
緊 急 性	現況の流下能力改修目標の約50%と不足しており、重要水防区域にも位置付けられている。令和5年7月14日～20日の梅雨前線豪雨により甚大な浸水被害が発生しており、緊急性は高い。	10点
有 効 性	河道を改修し河積を拡幅することにより、令和5年7月14～20日規模の洪水による被害を軽減することが出来るようになるため、事業の災害防止効果は高い。また、太平川沿いは観桜会や散策等で多くの人に利用される等、親水性は高く、多くの家屋が連坦する都市計画区域の人口集中地区でもあることから、事業の有効性は高い。	15点
効 率 性	事業の費用便益比は1.68であり、事業の投資効果は高い。また、家屋移転を最小限とする等、コストや時間縮減を図ることとしており、事業の効率性は高い。	10点
熟 度	令和5年7月14日～20日の梅雨前線豪雨により甚大な浸水被害が発生していることから、地元からも早期完成を要望されている。また、国・県・市が参画する「雄物川圏域流域治水協議会 下流圏域分科会」を設立し早期の治水対策を進めており、熟度は高い。	20点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) 地元からの要望が強く、「必要性」「有効性」「効率性」等から、事業の重要性は高く評価できるため、整備を継続し早期完成を目指すべき	85点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R5-建-継-11)
箇所名 (一級河川 太平川 秋田市楡山)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10	8426戸	
		10戸以上49戸以下	7			
		9戸以下	3			
	浸水面積	60ha以上	10	10	360ha	
		10ha以上60ha未満	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	城東中学校、東小学校、城東消防署	
		1施設以上	3			
		なし	0			
整備計画の策定						
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	H27.6		
	協議中であるが特段問題ない	3				
	策定に着手していないが予定がある	1				
	予定なし	0				
計			30	30		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	7	52% (現況220/計画420=0.52)	
		40%以上60%未満	7			
		60%以上	5			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	R5水防計画書より区分B		
	評定基準区分B	3				
計			15	10		
有効性	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7		
		災害防止効果は現状と変わらない	0			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	緑化に配慮した護岸 高水敷整備	
		親水性は現状と変わらない	0			
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3	都市計画区域	
地域開発の計画がある		1				
予定なし		0				
計			15	15		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	1.68	
		1.0未満	0			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	5	再生資材(砕石)の使用 仮設資材の再利用 家屋移転の少ない河道計画	
		2項目	3			
		1項目	1			
		なし	0			
前回計画との比較						
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	0	379% 114.4億円→433.3億円 (318.9億円増額)		
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	0				
計			15	10		
熟度	地元の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5		
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3			
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1			
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書R4.8月 秋田市	
		参画している	3			
		参画していない	0			
	事業の進捗状況					
	進捗率(事業費)	8割以上完了	10	5	(R4)72.3/(計画)433.3 =16.7%	
		5割以上完了	8			
1割以上完了		5				
1割未満		2				
環境との調和への配慮状況						
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	5	自然環境に配慮した護岸計画 排出ガス対策型車両や機械の採用 法面等の緑化の実施 等		
	1事項以上	3				
	環境配慮事項がない	0				
計			25	20		
合計			100	85		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		